

製品名: EhpB6 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80629

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC, ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | / |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | EhpB6 |
| 別名 | HEP; EPHB6 |
| 遺伝子 ID | 2051.0 |
| SwissProt ID | O15197 |
| 免疫原 | E. Coli で発現した EphB6 (aa601-750) の精製された組み換え断片。 |

背景

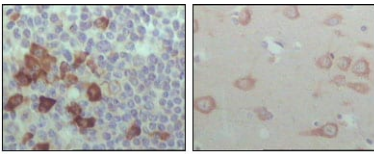
EhpB6: EPH 受容体 B6。エフリン受容体とそのリガンドであるエフリンは、特に神経系において、多くの発達過程を媒介します。エフリンは、その構造と配列関係に基づき、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA)

クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。Eph ファミリーの受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて 2 つのグループに分けられます。エフリン受容体は、受容体チロシンキナーゼ (RTK) ファミリーの最大のサブグループを構成します。この遺伝子によってコードされるエフリン受容体は、ほとんどの受容体チロシンキナーゼが示すキナーゼ活性を欠き、エフリン B リガンドに結合します。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒトリンパ節 (左) および脳 (右) の免疫組織化学分析。EhpB6 マウス mAb を使用した DAB 染色による細胞質の局在を示しています。